



町長日誌

No.256

町長日誌の第 256 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を
町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

2月15日（土曜日）PM3：30

あれよ、あれよという間に 2 月も節分が過ぎ、バレンタインも過ぎ月半ばとなりました。新年度の予算案づくりや議会への事前説明なども無事終了し、執行方針の原文づくりも何とか終えて、東京、札幌での会議が続く毎日です。降雪が少なく心配されていたスキー場も 2 月 2 日にオープンすることが出来、小中学校のスキー授業も何とか行うことが出来ています。遅れていた流水ですが 9 日夜から雄武・興部へと近づき次第に紋別方面へと着岸していたのですが、今日は興部の浜には跡形も見えませんでした。薄い氷とでもいう様な流水群ですから、ひと風で移動してしまうようです。気温が下がらないのもこの様な影響からなのかとも知れませんね。さて、3 月 3 日から定例議会が始まり令和 7 年度予算案や関連する条例改正案などが審議されます。人口減少・担い手不足が続くなか最近では平成の合併の善し悪しが報道されるようになりました。管内の大きな市の財政難が目立ったからかも知れません。本町も私が町長に就任した平成 15 年頃は、3 月に仮予算を立て 7 月に地方交付税が確定してから本予算を組む状態が数年続き、町全体で我慢をした結果が今に繋がりました。皆さんの家計と町の財政は同じです。将来への投資は必要ですが「身の丈」を忘れると必ず後年にしわ寄せが来ることを肝に銘じて取り組まなければならないと考えます。

1月28日（火曜日）

農協中央会と NHK が主催する「日本農業賞」の発表があり最高賞である大賞に宇津の酪農家富田泰雄さん（75 歳）が選ばれたとの発表がありました。大賞には個人 3 人、団体 3 組が選ばれ、今秋にはこの中から天皇賞が選出されます。富田さんは早くから今の雪印メグミルクを創設した北海道酪農の父と言われる黒沢酉蔵翁の教えを实践されてこられました。「土づくりは草づくり、草づくりは牛づくり、牛づくりは人づくり」が黒沢翁の教えで、化学肥料を使わない有機農業を实践され、そのデータを蓄積して収穫量が変わらない技術を確認されたことが評価されたものです。そして、その牛たちから生産される生乳を使ったチーズ等は海外コンテストでも入賞するなど興部酪農を支える農家であり、本町にとりまして大変な栄誉であります。富田さん、おめでとうございます。

2月14日（金曜日）

臨時議会が開催されました。議案は 2 月 7 日に行われた「認定こども園建設事業」の入札で決定した請負業者との契約締結の可否が議案となりました。これは町のルールとしては、予定価格が 5000 万円を超える建設事業などの請負契約締結は議会での議決が必要となることから、本日臨時会を招集し提案したところ全て了解を頂きました。直ぐに、建築主体工事・電気設備工事・機械設備工事の請負業者と本契約を行い、各業者は資材の正式発注や人材の確保などを行い、建築主体工事では雪解けを待って杭打ち工事などを始める予定です。興部小学校グランド横が建設予定地ですから、緑が丘・栄町の皆様や小学生の通学などの安全や騒音などには十分配慮するつもりですが、ご協力をお願いいたします。

同じく 14 日の議会で「物価高騰生活支援商品券配布事業」を決めていただきました。今、灯油・ガソリン・食品などすべてが高騰しています。町としては僅かではありますが皆様の家計の助けになればと考え商工会共通商品券一人 1 万円分をお届けします。少しでも良い春になれば幸いです。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131 です。